

筑波経済月報 No.134 2024.9

企業探訪

すべてのステークホルダーを幸せに

株式会社AJ GROUP ホールディングス

支店長のわがまち紹介

多世代がともにいきいきと思い思いに暮らすことができるまち やさシティ、まつど。

松戸市

常陸時代の佐竹氏ー500年の軌跡を追うー(第12回)

佐竹百年の乱

研究員レポート

日本の半導体戦略の現状と今後の取り組みに向けて

経営お役立ち情報

食品ロス削減と売上増加を両立できる「TABETE」のご紹介

筑波総研 株式会社





都会的な部分と自然の豊かさが融合する落ち着いた街「松戸」



(写真提供／松戸市)



21世紀の森と広場



パークセンター



市内の森



オープンフォレストin松戸



江戸川松戸フラワーライン

松戸市は、東京都に隣接した50万人規模の大きな自治体でありながら、豊かな自然を維持しています。この豊かな自然環境は、さまざまな市民団体の活躍で守られており、2024年6月1日に開催された第35回全国「みどりの愛護」のつどいでは、松戸市の2団体が花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体として国土交通大臣表彰を受賞しました。

また、松戸市は2025年春に開催される第36回全国「みどりの愛護」のつどいの開催地に決定しており、21世紀の森と広場・森のホール21を会場に実施されます。この催しは、全国の公園緑地等の愛護団体や地域の緑化・緑の保全団体などが一堂につどい、広く都市緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進することを目的としています。

会場のひとつとなる21世紀の森と広場内にあるパークセンターでは、公園に残されている貴重な自然の解説を通して、自然を大切に感じる心や創造性を育て、街にうるおいを与え、人びとの心にやすらぎを与えてくれる緑の情報を提供しています。

また、市としても緑の保全事業の一環として、2012年から、普段は入れない森を公開する「オープンフォレストin松戸」を開催しています。このイベントでは、市内各所の森で活動する里やまボランティアと森の所有者の協力を得て18か所の森を公開し、森の散歩や自然観察、クラフト体験などを通して、森の豊かさを実感し、森を守ることの大切さを学ぶことができます。

◆ 21世紀の森と広場 松戸市千駄堀269

